

支援情報

国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少などの理由で国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料(65歳以上)の納付が困難となった方は、申請により保険料の減免が受けられる場合があります。

●対象保険料

令和3年4月1日～令和4年3月31日の納期限のもの

●対象者(世帯)

下記①、②のいずれかに該当する者(世帯)

- ①新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡、または重篤な疾病を負った場合
- ②新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の事業収入など(事業・不動産・山林・給与収入)の減少が見込まれ、次のすべてに該当する場合

【国民健康保険料、後期高齢者医療保険料】

- ・事業収入などいずれかの減少額が前年の当該事業収入等の額の10分の3以上
 - ・令和2年中の合計所得金額が1,000万円以下
 - ・令和2年中の合計所得金額のうち、事業収入等に係る所得以外の所得の金額が400万円以下
- ※10分の3以上の減少が見込まれる事業収入等に係る令和2年中の所得が0円以下の時は、保険料減免の対象外です。

【介護保険料】

- ・事業収入などのいずれかの減少額が、前年の当該事業収入等の額の10分の3以上
- ・令和2年中の合計所得金額のうち、事業収入等に係る所得以外の所得の金額が400万円以下

●減免額

- ①全額
- ②対象保険料に令和2年中の合計所得金額の区分に応じた減免割合を乗じた額

●申請に必要なもの

申請書、被保険者証、印鑑、医師の診断書など感染した事実が確認できる書類の写し、収入を証明する書類など

●受付期間

令和4年3月31日(木)まで

●問い合わせ

【国民健康保険料、後期高齢者医療保険料】
住民課 町民生活グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

【介護保険料】
住民課 福祉グループ ☎26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

厚真町地域おこし協力隊

教育魅力化支援員

かわしま 川嶋 圭さん(27歳)

着任▽令和3年8月(1年目)
出身地▽岐阜県各務原市

川嶋 圭さん(27歳)



「厚真では何をしていますか？」
「高校魅力化プロジェクト」の担当として、公営塾の準備を進めています。
「高校魅力化」とは何ですか？
高校選択の際に、より「積極的な理由で選んでいただけるような魅力」を作っていく仕事です。我々だけでは実現できず、高校、行政、地域の三位一体で進めていくものです。
「これまでのキャリアを教えてください。」
外国語大学で中国語を専攻しました。2年間休学して中国に留学しました。中国の大学院への進学希望がかなわず、卒業後は建設関係の仕事に就きました。思うところがあり、退職してフリーターをしているときに今回の募集を知りました。実は外務省の関連機関で中国に関わる仕事の内定ももらっていましたが、

「中国に関わる仕事より厚真町を選んだ理由は？」
ゼロからイチにする仕事だからです。高校魅力化の取り組みは全国でもまだ事例が少なく、ここでしかできない経験ができると思いました。仕事を辞めてなんとなく日々を過ごす自分を見て、

「厚真町の環境や住民の印象は？」
移住者にやさしいマチですね。スポーツセンターを拠点に活動していますが、職員の方や清掃の方も話を聞いてくれて、応援してくれます。
「3年後への思いは？」
公営塾が、高校選択の際に「当たり前」の存在になっていくこと。地域の中でしっかり認知されて、地域のインフラとなる存在にしていきたいです。

仲良くしてくれていた地域の社長さんから「社会に何も生み出してないね。ただ自分の人生が過ぎるだけだね」と言われていました。今回のプロジェクトに関わることで、地域社会に貢献できると思いました。バイクが好きなので、北海道をバイクで走るのもいいなと脳裏に浮かびました。
「今の課題は？」
「高校の魅力とは何か？」を定義することです。何がどうなれば魅力が上がったといえるのか？何を伝えれば保護者の方に理解いただけるか？自分たちの仮説を持つことが大事です。地域の皆様のご意見も聞きたいと思っています。

「厚真町の環境や住民の印象は？」
移住者にやさしいマチですね。スポーツセンターを拠点に活動していますが、職員の方や清掃の方も話を聞いてくれて、応援してくれます。
「3年後への思いは？」
公営塾が、高校選択の際に「当たり前」の存在になっていくこと。地域の中でしっかり認知されて、地域のインフラとなる存在にしていきたいです。



Vol.264

厚高インフォメーション

Atsuma High school Information



学校の取り組みをご覧ください。
厚真高校ホームページ
<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/>

■1年生のものづくり企業の工場見学会(10月21日)
胆振総合振興局商工労働観光課の協力で、工場を見学しました。ものづくり企業への理解を深めるのが目的です。午前中は、株式会社ダイナックス苫小牧工場を訪ね、道の駅ウトナイ湖で昼食を挟みいすゞエンジン製造北海道株式会社を訪

■1日防災学校(10月28日)
陸上自衛隊員23人が来校しました。防災講話に加え、炊事車や装輪装甲車を見学し、昼食は非常食のカレーやスープ、サラダを食べました。また、装備や設備の実演、救済・支援なども体験しました。

■生徒会遠隔交流(11月10日)
生徒会が放課後に遠隔機器を使い、本校と同規模の佐呂間高校と交流しました。地域や学校を紹介したほか、コロナ禍での学校生活や生徒会活動の工夫など、情報や意見を交換しました。有意義な活動になりました。

■1年生のインターンシップ(10月22日)
胆振地域林業担い手確保推進協議会の協力で、町内外で林業に触れました。午前中は町内で被災森林と植栽現場を見学。苫小牧市の緑ヶ丘公園で昼食を取ったあと、支笏湖に近い国有林内で伐採作業を見て枝打ちを体験。また、人工林を有効活用する製材工場・株式会社ヨシダを見学しました。川上から川下まで、一連の作業を体験し、より理解と関心を高めた1日となりました。

■2年生のインターンシップ(11月1日、2日、4日)
働く喜びや厳しさ、自身の能力や適性を知るために職場体験学習を行いました。訪問先は、有限会社木本建設や町図書館、こども園つみき、有限会社社蔵重自工、株式会社たのしい、こぶしの湯あつまなど。地域社会と連携を深めながら職業観や勤労観を育成し、地元企業を理解しました。ご指導とご協力、ありがとうございました。

問しました。ものづくり企業の製造現場を通して、その魅力に触れることができました。

災害に遭遇した際の対処法および災害支援について理解を深め、自衛隊の災害派遣対応を体験的に学びました。

短歌

霜降りる頃となりせば咲く花の長くたえよと夜毎覆いす
十一月も半ばとなるに暖かくスギタケ一面顔を出しをり
啄木に心酔しての歌の道五十数年未だ迷作

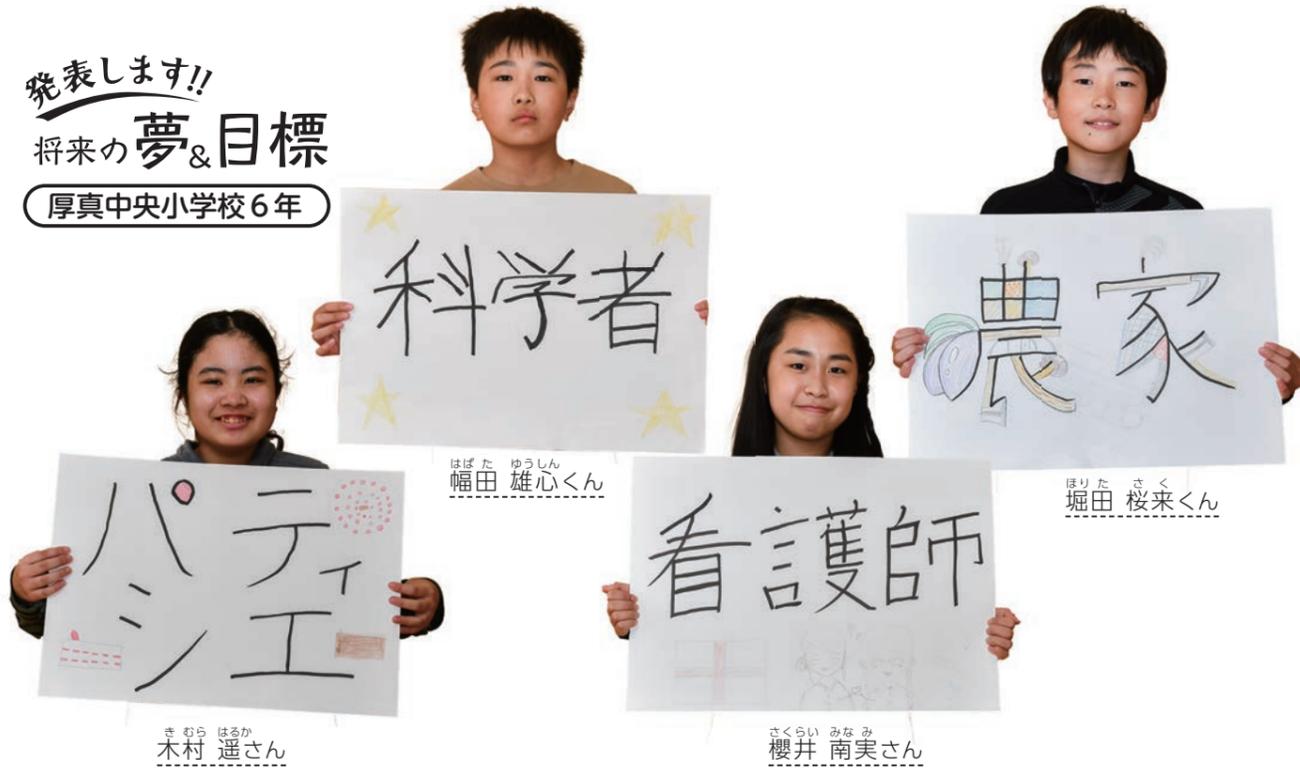
あつま文芸友の会発行「文芸あつま第二十五号」から抜粋

本郷 武田弘子
本郷 矢部慧子
本郷 山田志津
本郷 山田志津

発表します!!

将来の夢&目標

厚真中央小学校6年



はばた ゆうしん 幅田 雄心くん

ほりた さく 堀田 桜来くん

きむら はるか 木村 遥さん

さくらい みなみ 櫻井 南美さん